

学長定例記者会見要項

日 時： 令和4年1月13日（木） 11：00～11：45
場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

発表事項

1. 純米大吟醸「山形大学燦樹（きらめき）2022」完成
～山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月1日より販売開始～
2. 『薬用植物標本集』のデジタル基盤の構築
～高島町立図書館とティスコ運輸、山形大学の連携協力～
3. エリアキャンパスもがみ 山形大学舟形プロジェクト
～大学での地産地消の可能性を探る～
4. 山形大学文化創生コースの学生による卒業研究作品展を開催
～4年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約80点を一挙展示～

お知らせ

1. 令和4年度大学入学共通テストの取材について
～大学入学共通テストの円滑な実施に御協力をお願いします～
2. 回転ガントリー照射装置の準備状況を公開します
～次世代型重粒子線がん治療装置が完成しました～
3. 令和3年度山形大学特別イベント「文明開化の舞台 横浜を歩く」について
4. 第5回 YU-SDGs カフェを開催します
～この山形でどうしてこの人たちは面白そうに仕事してるのか、聞いてみたくないですか！？～

（参 考）

○ 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時： 令和4年2月3日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第一会議室（小白川キャンパス法人本部棟3階）

学長定例記者会見（1月13日）発表者

1. 純米大吟醸「山形大学燦樹（きらめき）2022」完成

～山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月1日より販売開始～

農学部附属やまがたフィールド科学センター 技術専門職員

たなか けんいち
田中 健一

山形大学生生活協同組合 専務理事

たかはし なおや
高橋 直也

奥羽自慢株式会社 製造責任者

あべ りゅうや
阿部 龍弥

2. 『薬用植物標本集』のデジタル基盤の構築

～高島町立図書館とティスコ運輸、山形大学の連携協力～

学術研究院 講師（歴史民俗資料学）

あべ たかひろ
阿部 宇洋

3. エリアキャンパスもがみ 山形大学舟形プロジェクト

～大学での地産地消の可能性を探る～

理学部理学科1年

こばやし りょうすけ
小林 凌介

人文社会科学部人文社会科学科1年

かとう なみ
加藤 那実

4. 山形大学文化創生コースの学生による卒業研究作品展を開催

～4年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約80点を一挙展示～

地域教育文化学部文化創生コース4年

こばやし すみれ
小林 堇

//

おおいずみ ありさ
大泉 有理紗

//

さとう るい
佐藤 瑠惟

令和4年（2022年）1月13日

純米大吟醸「山形大学燦樹（きらめき）2022」完成 ～山形大学オリジナル純米大吟醸酒、2月1日より販売開始～

【本件のポイント】

- 農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された米を原料に使用した純米大吟醸酒が完成した。
- 原料米には高坂農場産出羽燦々を100%使用。
- 今年も売上の一部を学生への支援に活用する。



【概要】

山形大学オリジナル純米大吟醸酒が完成し、2月1日より販売を開始します。農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された米を原料に使用した山形大学オリジナル純米大吟醸酒は、2007年から山形大学生協で販売しています。2021年はコロナ禍の影響を受け、醸造を見送りましたが、今年は酒蔵を奥羽自慢株式会社へ変え、新酒を販売します。原料米の酒造好適米「出羽燦々」は、特別栽培の認証を受け、慣行より50%以下の農薬・化学肥料で栽培したものです。今年は、1,800本（約356万円）の販売を予定しており、売り上げの一部は、学生への支援として活用されます。

【山形大学燦樹（きらめき）2022】

醸造本数：生酒 500本(720ml)、熱処理した火入酒1,300本(720ml)の合計1,800本

価格：生酒及び火入酒共に、720ml瓶入り1本1,980円(税込)

小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗のほか、同組合のホームページからも通信販売にて購入することができます。 (<https://www.yamagata.u-coop.or.jp/>)

【原料米は附属農場産の「出羽燦々」】

原料米には、農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された酒造好適米「出羽燦々」を100%使用。山形大学燦樹（きらめき）2011より、特別栽培の認証を受け慣行より50%以下の農薬・化学肥料で栽培しています。

【醸造元】

奥羽自慢株式会社（山形県鶴岡市上山添神明前123） ※今年初めて醸造いただきます

【売り上げの一部は学生の支援に】

今年は、1,800本（約356万円）の販売が予定されており、完売した場合には、約35万円が「山形大学基金」に寄附され、学生への支援として活用されます。

お問い合わせ

山形大学生生活協同組合 小白川コンビニ店 Ciel

TEL 023-641-8662

令和4年（2021年）1月13日

『薬用植物標本集』のデジタル基盤の構築 ～高島町立図書館とティスコ運輸、山形大学の連携協力～

【本件のポイント】

- 高島町立図書館所蔵『薬用植物標本集』2冊のデジタル化。
- 本格的な機材を使用した植物標本のデジタル化は県内初。
- 植物標本は劣化や扱い時の破損の可能性が高く、一般公開が難しい現状であったが、デジタル撮影し、公開基盤を整備することによって、活用可能な資料になる。



【概要】

今回、高島町立図書館所蔵（館長：大浦真由美）『薬用植物標本』の一般公開に関する相談を昨年9月に受け、研究がスタートした。植物標本は、経年劣化や保存環境、使用頻度によって長期保存可能かどうか左右される資料である。当資料は、冊子形態になっているため、より閲覧時に標本に負荷がかかるものであった。そのため、図書館に所蔵されているが気軽に閲覧できる環境になかった。そこで、山形大学の阿部宇洋講師（学士課程基盤教育機構担当）と株式会社ティスコ運輸（本社：山形市、社長：菅原 茂秋）と協力し、『薬用植物標本』2冊のデジタル化を実施した。

ティスコ運輸はデジタルアーカイブ部門があり、一般文書のデジタル化機材の他に、学術的な資料のデジタル化が可能なスキャナを所有し非接触非破壊の撮影が可能な環境が整っている。

12月にデジタル化を実施し、総枚数314点の撮影を実施した。その際、資料のクリーニング、搬出入を高島町立図書館が担当、撮影をティスコ運輸が担当、監修、撮影指導を山形大学が担当した。

12月末に全行程が完了し、完成したデータは、12月24日に高島町立図書館へ寄贈された。今後、デジタル化された植物標本は、高島町立図書館で製本し一般公開される予定である。植物標本の作成時代ははっきりわからなかったものの、地域資料が安易に閲覧できる環境が期待される。

【背景】

地域資料は、保存はされているが公開されていない資料などが多くあり、その活用が地域の課題となっている場合がある。また保存の過程で紛失する場合もある。今回の資料は植物標本2冊のデジタル化だが、巻2、巻3のみであり、巻1は所蔵されていなかった。また、この植物標本は通常1シートで保存されるべき所を冊子にしているという形態であり、安易にデジタル化出来るものではなかった。そのため、特殊な機材や技術を必要とした。

【研究手法・研究成果】

山形県内の植物標本のデジタル化は、山形県立博物館ですでに実施されており、デジタルアーカイブズとして公開されている。また、植物標本は、全国各地のさまざまな学術機関でデータベース化されており、比較しやすい環境が整っている。今回の高島町の薬用植物標本は、地域の薬用植物という枠で収集されているものであり、比較研究するにあたって有用である。

（科研費番号：基盤研究費（A）19H00550 アーカイブズによる「地域力」再生と持続的社会の基盤創成研究）

【今後の展望】

山形県内には植物標本のほか、デジタル化すべき様々な資料が存在するが、技術や機材の問題で県外への委託が多い状況であった。その際に課題となるのが資料の搬送である。資料への負荷や費用がコストとして上乗せされるが、より近場で、県内で完結するようであれば資料への負荷も少なく搬送コスト、リスクを抑えたデジタル化が可能になる。今回の研究は県内での専門機材を使用したデジタル化の第一歩であり、地域的にはコスト、リスクを軽減しつつ、企業的には大学と連携することにより資料化の技術向上をはかることが可能になる。これらが上手に循環すれば持続したデジタル化が可能になり様々な形態的な理由での非公開資料が手に取るように見ることが出来るようになるだろう。

お問い合わせ

学術研究院 講師 阿部宇洋（歴史民俗資料学）

TEL 023-628-4868 メール taka.abe@cc.yamagata-u.ac.jp

令和4年（2022年）1月13日

エリアキャンパスもがみ 山形大学舟形プロジェクト ～大学での地産地消の可能性を探る～

【本件のポイント】

- 山形大学は、地域に近い大学であり地産地消や地域振興を実践しやすい環境である。しかし管見の限り、大学自体を地産地消の市場と捉え、その可能性について調べた例は少ない。
- 学生有志が山形県舟形町の食材を使ったメニュー「舟形野菜かき揚げ丼」^(※2)を考案し、学生食堂（厚生会館^(※3)）と連携し販売した。
- 大学は地産地消の市場として十分な可能性があることが分かった。



【概要】

基盤共通教育の選択必修科目「山形から考える」の「フィールドラーニング共生の森もがみ」は、自然豊かな山形県最上地域でのフィールドラーニングを通して、地域の文化や歴史、自然、環境等だけでなく、過疎化や少子高齢化等の諸問題を地域の人たちと共に学び、実践的な視点から知識を獲得し、山形から日本、世界及び過去から現在、未来の空間及び時間軸で現象を把握する力を養うことを目的としている。

この講義において、私たちは舟形町の課題発見・解決案の提案をおこない、その課題として「農業人口減少による農村の衰退」、解決案として「人、特に若者への町の魅力の周知」と考えた。この解決案の実証するため、有志が集まり、「若者間での舟形町の認知度を上昇させ、大学が地産地消のための市場になり得るか否か」について、舟形町の食材を使用したメニュー「舟形野菜かき揚げ丼」の提案と販売、アンケート調査を実施した。今後は舟形町などでの成果発表を想定している。

【背景】

「フィールドラーニング共生の森もがみ」の講義プログラムで舟形町を実地訪問して課題発見を行った。講義終了後、履修者有志（1年次）サポーター^(※4)（3年次）で舟形町に対する課題検討・解決策提案を目的に、「山形大学 舟形プロジェクト」を発足した。その課題は「農業人口の減少による農村の衰退」であり、特に若者へ町の魅力を周知することが必要であると考えた。これらの考えを講義のみで終わらせずに、提案を実証したいという思いを強く持ち続けた有志の班員によって、講義修了後に当団体である舟形プロジェクトを立ち上げ、舟形町教育委員会、堀内農産、山形大学厚生会館の協力を得て活動した。

この活動は山形大学並びに山形大学校友会「山大学生の活動支援プロジェクト(V)！」より活動資金を提供していただいた。

【調査の手法・成果】

若者間での舟形町の認知度を上昇させ、大学が地産地消のための市場になり得ることを検証するために次の順に調査を行った。

- (1) 食事を厚生会館で提供する前後で1年生を対象にした舟形町の認知に関するインターネット上アンケート
- (2) 舟形町（堀内農産提供）の野菜を使った「舟形かき揚げ丼」を厚生会館の食堂において提供
- (3) 購入者を対象としたアンケート
- (4) 分析

得られた解答から次のことが分かった。

- ・91%の人がもう一度「舟形かき揚げ丼」を食べたいと答え、全回答者の17%が二回以上食べたと答えた。
- ・98%の人が地域の食材を大学で食べてみたいと答えた。

これらから大学は地域の食材のよい市場になると考えられる。なお、(1)の1年生全員を対象にしたアンケートは十分な回答数を得られなかった。

お問い合わせ

学術研究院 講師 阿部 宇洋（学士課程基盤教育機構 担当）

電話：023-628-4868 メール：taka.abe@cc.yamagata-u.ac.jp

【今後の展望】

「舟形野菜かき揚げ丼」は販売されたすべての日で完売した。また調査結果より、大学が地産地消の良い市場になり得ることが示された。ただし、今回の調査として不足したのは、他大学食堂と比べ利用者層が限定される厚生会館を対象にしたため、バイアスがかかっている可能性はある。また、アンケート結果から「舟形野菜かき揚げ丼」を食べようと思った最大の理由は「価格である」と答えている人がすべての日で80%を超えていて1位であるため、低価格であったことが良く売れた要因であったと考えられる。しかし今回は、堀内農産のご厚意での野菜提供であったため低価格が実現されており、持続可能な地産地消メニューにするためには価格を考える必要があることがわかった。

今回のような地産地消プロジェクトを来年度以降も継続し、認知度の上昇や商品の適正な価格帯について調査したいと思うが、さまざまな学部で構成されるメンバーのキャンパス移動や時間確保が課題である。しかし、新入生の中でこのプロジェクトに興味を持ってくれた方がいるならば、ぜひ引き継いでもらいたい。

最後に、この活動にご支援頂いた、舟形町教育委員会、堀内農産、厚生会館、資金援助いただいた山形大学校友会の皆様にご挨拶申し上げます。

※用語解説

1. エリアキャンパスもがみ：山形大学が最上地域を対象として展開しているバーチャルキャンパス。
2. 舟形野菜かき揚げ丼：舟形町の堀内農産によって提供していただいた野菜を使ったかき揚げ丼であり、12/16~12/22の5日間厚生会館にて販売していただいた。
3. 厚生会館：山形大学内の食堂の一つがある建物である。
4. サポーター：学生の学びをサポートする立場の上級学生。

令和4年（2022年）1月13日

山形大学文化創生コースの学生による卒業研究作品展を開催 ～4年間の集大成としてバリエーション豊かな作品約80点を一挙展示～

【本件のポイント】

- 山形大学文化創生コースで美術を中心に学ぶ学部4年生11名による卒業研究作品展2022を開催。
- 今年度のポスターは、「メンバー各々が卒業研究・制作を通して一步步成長し、一丸となって展覧会を作り上げる」という意味が込めてあり、小林董さん（地域教育文化学部4年生）が制作。
- 山形美術館を会場に開催、皆様に学生達の作品を身近に感じてもらえるような卒業研究作品展。



【概要】

地域教育文化学部文化創生コースで美術系研究室に所属する4年生11名が、山形大学での学びの集大成として、卒業研究作品展2022を開催します。

今年度のポスターは、「メンバー各々が卒業研究・制作を通して一步步成長し、一丸となって展覧会を作り上げる」という意味が込めてあり、小林董さん（地域教育文化学部4年生）が制作を担当しました。

本展覧会では、絵画・彫刻・イラストレーション・パネル展示といった様々な表現方法の作品約80点を展示予定です。市街地中心にある山形美術館を会場とし、地域の皆様に学生達の作品を身近に感じてもらえるような卒業研究作品展を目指しています。

学生生活の中で培った知識や技術、経験を活かした4年間の集大成といえる作品展になっております。多種多様な作品に表れたそれぞれの学びや個性を感じ取っていただければ幸いです。

【卒業研究作品展 開催情報】

日時：2022年2月2日(水)～2月6日(日) 10:00～17:00(最終日のみ15:00まで)

場所：山形美術館 2階第3展示室東側

Twitter：@yamadai_sotuten

Instagram：@yamadai_sotuten

入場無料となっております。

お問い合わせ

地域教育文化学部 文化創生コース 降旗研究室・小林研究室・土井研究室

メール artists30y@gmail.com



2022年 2月2日(水) ~ 2月6日(日)
10:00 ~ 17:00 (最終日は15:00まで) 入場無料



会場
山形美術館 第3展示室東側
〒990-0046 山形県山形市大手町1-6-3

Twitter 山形大学卒業展 @yamadai_sotuten
Instagram 山形大学卒業展 @yamadai_sotuten
Instagram やぶから @yu_yabukala

感染症予防のためのお願い
 ・当日はマスクの着用、手指の消毒にご協力お願い致します。
 ・咳、発熱、風邪のような症状がある方、体調が優れない方は来場をご遠慮ください。
 ・会場ではなるべく他のお客様と距離をとり、大声での発話をお控えください。
 ・新型コロナウイルス感染対策に講じて開催いたしますが、状況に応じて内容が変更となる場合がございます。

令和4年(2022年)1月13日
山形大学

*詳細は別添の資料をご覧ください。

1. 令和4年度大学入学共通テストの取材について

～大学入学共通テストの円滑な実施に御協力をお願いします～

既にお知らせしておりますが、小白川キャンパス、米沢キャンパス、県立鶴岡中央高等学校、県立新庄神室産業高等学校の4会場で実施する大学入学共通テストの取材にあたっては、各試験会場責任者の許可が必要です。試験の円滑な実施にご協力をお願いします。

取材申込み期限：1月13日（木）正午まで

2. 回転ガントリー照射装置の準備状況を公開します

～次世代型重粒子線がん治療装置が完成しました～

次世代型重粒子線がん治療装置について、回転ガントリー照射室のメーカー側調整が終了し、令和3年12月28日に同装置が完成しました。1月からは、大学スタッフによる治療に向けた準備を進めており、その様子をマスコミの皆様にご公開いたします。

3. 令和3年度山形大学特別イベント「文明開化の舞台 横浜を歩く」について

山形との縁も深く、江戸から近代へ文明開化の舞台となった横浜で、町歩きと落語口演、対談を実施します。（新型コロナウイルス感染状況や天候等により、オンライン配信に変更または中止する場合があります。）

日時：3月6日（日）10:00～16:30

会場：神奈川大学みなとみらいキャンパス

4. 第5回 YU-SDGs カフェを開催します

～この山形でどうしてこの人たちは面白そうに仕事してるのか、聞いてみたくないですか！？～

専門分野や出身、年代も違う3人のパネリストが、山形で“面白そうに”仕事をしている理由を明らかにし、これからの山形について語り合います。

日時：1月27日（木）19:00～20:00

形式：zoom ウェビナー（視聴のみの参加も OK）

受講料：無料

申込先：<https://forms.gle/wMnc3qWsq5zzrzDq5>

（詳細はチラシをご覧ください）

令和4年1月13日

令和4年度大学入学共通テストの取材について ～大学入学共通テストの円滑な実施に御協力をお願いします～

【本件のポイント】

- 山形大学では、小白川キャンパス、米沢キャンパス、県立鶴岡中央高等学校、県立新庄神室産業高等学校の4会場で実施します。
- 取材される場合は、1月13日（木）正午までに各試験場担当者に御連絡願います。
また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスの確保に留意した上で取材を行ってください。

【概要】

令和4年度大学入学共通テストは、1月15日（土）、16日（日）に全国の大学入学共通テスト利用大学等を会場として実施されます。

本学では、小白川地区試験場（小白川キャンパス）、工学部試験場（米沢キャンパス）、県立鶴岡中央高等学校試験場（鶴岡市）、県立新庄神室産業高等学校試験場（新庄市）で実施します。

取材に当たっては、事前に各試験場責任者の許可を得た上で行っていただきますよう、試験の円滑な実施にご協力をお願いします。

【志願者数】

小白川地区試験場：1,706人
工学部試験場：701人
県立鶴岡中央高等学校試験場：512人
県立新庄神室産業高等学校試験場：225人

【小白川地区試験場の取材について】

- 1月15日（土）午前9時5分からの試験室内での撮影をされる場合は、基盤教育3号館交流スペース（別紙参照）に午前8時55分（時間厳守）までにお集まり願います。
- 車で入構される場合は、大学の南門から入り、所定の報道関係者駐車場（別紙参照）に駐車願います。
なお、大学正門は、受験者の入構のため、車等の乗り入れは禁止となっておりますので、ご協力方よろしく願います。

※試験場での取材・撮影のお申し込みは、1月13日（木）正午までに各試験場担当者までお申し込み願います。

お問い合わせ
山形大学エンrollment・マネジメント部入試課
辻・小野
TEL 023-628-4140

令和4年度大学入学共通テストの取材について

－ 大学入学共通テストの円滑な実施にご協力をお願いします。－

山形大学

1 報道関係の窓口

報道関係者への対応は、本学の試験実施本部の広報担当者が行いますので、試験に関する問合せ等については、エンrollment・マネジメント部入試課長（☎023-628-4140）へお願いします。

2 試験場での取材

試験場での取材は、あらかじめ許可を得てください。

取材の際は、各社記者証を提示し、腕章等で報道関係者であることを明示してください。

3 試験室内での撮影

試験室内での撮影は、1月15日（土）のみとし、試験場責任者の指定する職員の立会いのもとで行ってください。

(1) 大学入学共通テストの撮影については、1月13日（木）正午（厳守）までに各試験場責任者の了承を得てください。

- ・ 小白川地区試験場責任者 … 小白川キャンパス長
（連絡先：小白川キャンパス事務部入試課☎023-628-4072）
- ・ 工学部試験場責任者 … 米沢キャンパス長
（連絡先：米沢キャンパス事務部学務課入試担当☎0238-26-3013）
- ・ 県立鶴岡中央高等学校試験場責任者 … 鶴岡キャンパス長
（連絡先：鶴岡キャンパス事務部学務担当☎0235-28-2808）
- ・ 県立新庄神室産業高等学校試験場責任者 … 東北文教大学・同短期大学部副学長
（連絡先：東北文教大学・同短期大学部入試広報センター課長☎023-688-2296）

(2) 1月15日（土）は、午前8時55分までに報道関係者控室等に集合してください。

(3) 撮影は、試験場責任者が指定した試験室でのみ許可することとします。

(4) 撮影時間は、午前9時5分から10分以内とします。

必ず午前9時15分には退室してください。

(5) 撮影に当たっては、受験者に動揺を与えないよう注意するとともに、試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

(6) 受験者が特定できるような撮影は、絶対に避けてください。

(7) 本学が指定する試験室以外の「試験室」及び「試験室のある建物」への立ち入りはできません。

4 障害等のある受験者の取材

障害等のある受験者の取材については、あらかじめ本人の了解を得る必要がありますので、試験場責任者の指示に従ってください。

5 不測の事態発生時の取材について

不測の事態が発生して、試験が中止された場合などにおいても、必ず試験場責任者の指定する職員の指示に従ってください。

- 6 当日の試験実施状況（※）は、以下の時間にエンrollment・マネジメント部入試課から報道各社へ FAX 送信予定ですので、円滑な試験実施のため、**試験時間中の問合せはご遠慮ください。**
発表時間はあくまでも予定ですので、あらかじめご了承ください。

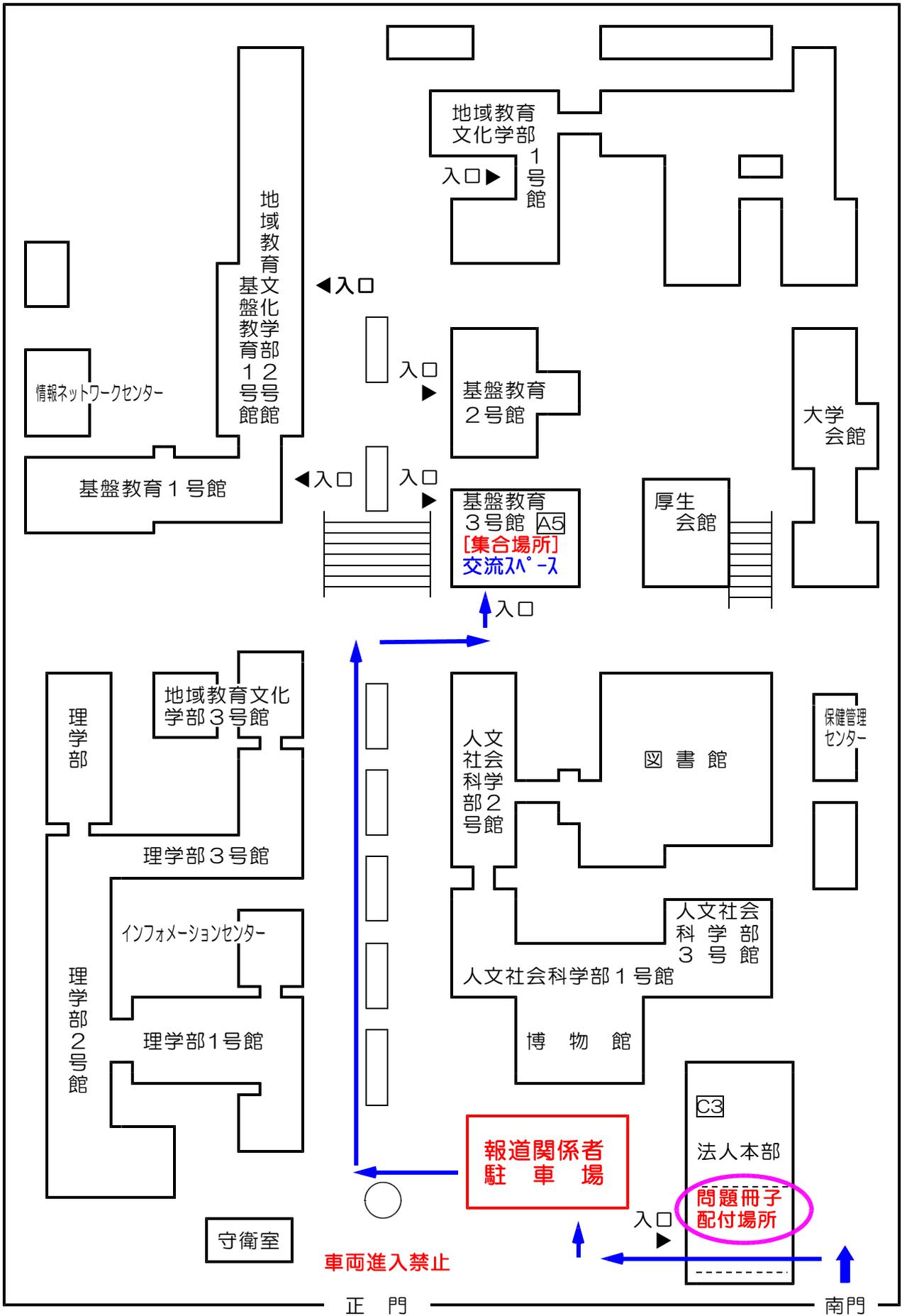
区 分	1月15日（土）				1月16日（日）			
科 目	地理歴史，公民	国語	外国語 (リーディング)	英語 (リスニング)	理科①	数学①	数学②	理科②
発表予定 時間	13:20 以降	16:10 以降		18:20 以降	13:20 以降	16:15 以降		18:05 以降

（※）志願者数，欠席した者の人数，受験した者の人数をお知らせします。

7 問題冊子及び科目別正解の発表

- (1) 問題冊子は，各試験時間終了後に各試験場で配付します。
- (2) 正解及び配点は，試験終了後，大学入試センターにおいて，大学入試センターのホームページを通じて発表します。

小白川地区試験場報道関係者駐車場等配置図



※正門からの車の出入りはできません。南門から入構してください。



令和4年（2022年）1月13日

回転ガントリー照射装置の準備状況を公開します ～次世代型重粒子線がん治療装置が完成しました～

【本件のポイント】

- 回転ガントリー照射装置の準備状況をマスコミの皆様にご公開いたします。
- 次世代型重粒子線がん治療装置は完成いたしました。

【概要】

本学医学部東日本重粒子センターにおいて、平成27年度から研究・開発を進めてまいりました次世代型重粒子線がん治療装置は、懸案となっていた回転ガントリー照射室のメーカー（東芝エネルギーシステムズ株式会社）による調整が終了し、令和3年12月28日納入され、完成いたしました。

1月からは、大学スタッフによる治療に向けた準備が始まっており、実際の患者への照射治療を想定した人体模型等への治療模擬照射を行う等、医療機関として照射治療の安全を確認する作業を実施しており、この様子を公開いたします。

【公開日時等】

- 1 公開日時
令和4年1月17日（月）11:00～12:00
- 2 場所
山形大学医学部東日本重粒子センター2階
- 3 当日の予定
医学部長挨拶
概要説明
センター公開
回転ガントリー照射装置準備状況の様子
回転ガントリー本体の動作の様子
質疑応答
- 4 注意事項
 - 発熱、咳、のどの痛み等の症状がある方は、取材をご遠慮願います。また、当日、参加名簿への所属・氏名の記載及び検温をお願いいたします。
 - 当日は、診療が行われておりますのでご配慮をお願いいたします。
 - 当センター前の駐車スペースが利用可能です。

お問い合わせ

山形大学医学部東日本重粒子センター事務室

TEL 023-628-5404 heavy-ion@mws.id.yamagata-u.ac.jp

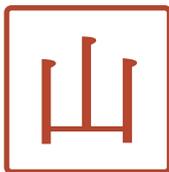
文明開化

の舞台

横浜

を歩く

江戸から近代へ



形との縁も深く、江戸から近代へ文明開化の舞台となった横浜で、町歩きと落語口演、対談を実施します。

第一部

横浜町歩き - 文明開化の舞台を探访 -

文明開化の舞台となった横浜は、庄内藩出身の幕末の志士清河八郎や置賜盆地を「アルカディア(桃源郷)」と賞美したイザベラ・バードのほか、米沢牛や山形産シルクなど、山形との縁も深い地です。

山本陽史教授をナビゲーターに、江戸から近代にかけての変化の名残を探访します。

■開催時間

A 班：10:00～11:45 B 班：13:00～14:45

■参加費 / 定員

500 円 (保険料等 当日現金でいただきます) / A 班・B 班 各 40 名

■集合場所

みなとみらい線元町・中華街駅アメリカ山公園口 (6 番出口)



横浜外国人墓地資料館

■予定コース

みなとみらい線元町・中華街駅アメリカ山公園口集合 → 横浜外国人墓地資料館 → 港の見える丘公園 → フランス山 → 山下公園 → 氷川丸 → 山下臨港線プロムナード → 象の鼻テラス → クイーンズの塔 (横浜税関) → みなとみらい線日本大通り駅 → (鉄道で各自移動) → みなとみらい駅 → 神奈川大学みなとみらいキャンパス
※みなとみらい線利用時の交通費は各自ご負担ください。

第二部

桂伸治師匠 落語口演・対談「江戸から近代へ」

落語家

かつら しんじ

三代目 桂 伸治



山形大学 (日本文学)

やまもと はるふみ

教授 山本 陽史

■開催時間

15:00～16:30

■参加費 / 定員

無料 / 100 名

■会場

神奈川大学みなとみらいキャンパス 米田吉盛記念ホール (1 階)

〒220-8739 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-5-3

(みなとみらい線みなとみらい駅下車徒歩約 6 分)

※会場へのお問い合わせはご遠慮ください。詳細は参加決定の際にお知らせします。

日程

令和 4 年 3 月 6 日

※時間は参加内容によって異なります。参加されるコースをご確認ください。

お申込

裏面の申込書により、FAX またはメールでお申し込みください。受付期間は下記の 3 日間です。

お申し込み後、抽選により決定し、抽選結果は 2 月 10 日 (木) 頃までにご連絡します。

受付期間：2 月 1 日 (火)～2 月 3 日 (木)

※新型コロナウイルス感染状況や天候等により、オンライン配信に変更または中止する場合があります。

お問合せ

山形大学総務部総務課秘書広報室

TEL：023-628-4008 FAX：023-628-4013

MAIL：yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



山形大学特別イベント「文明開化の舞台 横浜を歩く」参加申込書

1. 参加を希望する順に**数字**を記入してください。

希望順位	コース名	10:00~11:45	13:00~14:45	15:00~16:30
	Aコース (午前の町歩き+落語)	第一部(町歩きA班)	(自由行動)	第二部
	Bコース (午後の町歩き+落語)	-----	第一部(町歩きB班)	第二部
	Cコース (落語・対談のみ)	-----	-----	第二部

2. 参加希望者について記入してください。

グループでお申し込みいただく場合は、1枚（1通のメール）につき4名様までご記入いただけます。

1	ふりがな				生年月日	年	月	日	年齢	歳
	氏名									
	電話	自宅	-	-	携帯	-	-			
	住所	〒			Email					

2	ふりがな				生年月日	年	月	日	年齢	歳
	氏名									
	電話	自宅	-	-	携帯	-	-			
	住所	〒			Email					

3	ふりがな				生年月日	年	月	日	年齢	歳
	氏名									
	電話	自宅	-	-	携帯	-	-			
	住所	〒			Email					

4	ふりがな				生年月日	年	月	日	年齢	歳
	氏名									
	電話	自宅	-	-	携帯	-	-			
	住所	〒			Email					

※ご記入いただいた個人情報は、この催しに関する事務処理のみに使用いたします。

<注意事項>

- ① **申し込みの受付期間は、2022年2月1日(火)10:00~3日(木)17:00です。**
- ② 受付終了後、抽選を行い、参加者を決定します。抽選結果は、2月10日頃までにお知らせする予定です。
- ③ メールでお申し込みの際は、上記の情報（希望コースと参加者）をメール本文に記載して送信してください。
- ④ **お申し込みはお一人様（グループ）につき、1枚（1通）のみ**とします。同一の方が複数お申し込みいただいた場合、2枚目以降は無効となります。
- ⑤ グループでお申し込みいただいた場合、コースの希望順位は全員同じとみなします。グループの一部のみが違うコースになることはありません。
- ⑥ 町歩きは、安全な道・場所を引率者が配慮のうえ、ご案内いたしますが、参加は自己の責任でお願いいたします。（仮に自己の責任に基づく事故・怪我があった場合、主催者側は責任を負いかねます。）

<申込先> 山形大学総務部総務課秘書広報室

FAX : 023-628-4013 E-mail : yu-koho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



令和4年（2022年）1月13日

第5回YU-SDGsカフェを開催します ～この山形でどうしてこの人たちは面白そうに仕事してるのか、 聞いてみたくないですか！？～

【本件のポイント】

- 山形大学は昨年7月から「すべての活動の推進をSDGsの枠組みによりempower!」しています。この方針のもと、これまで、学内はもとより、“オール山形”の県民運動の一環として、一般市民を対象にした「YU-SDGsカフェ」を4回開催してきました。
- 第5回目は1月27日（木）に「この山形でどうしてこの人たちは面白そうに仕事してるのか、聞いてみたくないですか！？」をテーマにウェビナー形式で実施します。
- 専門分野や出身、年代も違う3人のパネリストが、山形で“面白そうに”仕事をしている理由を明らかにし、これからの山形について語り合います。



【開催趣旨】

山形大学では1月27日（木）、第5回YU-SDGsカフェを開催します。このYU-SDGsカフェは、SDGsに関心のある方々がより気軽に対話と気付きが得られるような場として、オンラインの開催を基本として昨年3月から隔月のペースで定期的開催しているものです。5回目となる今回は、専門分野や出身、年代も違う3人のパネリストが、山形で“面白そうに”仕事をしている理由を明らかにし、これからの山形について語り合います（SDGsの目標；4，8，9，11関連）。参加者には、事前アンケートで「山形が好きor嫌い？」とその理由等について回答していただき、当日は「お悩み相談コーナー」で、本学学生等からの悩みや相談にパネリストがLiveで回答し“一発解決”を目指します。

【概要】

- (1) 日 時：2022年1月27日（木）19:00～20:00
- (2) 形 式：zoomウェビナー（視聴のみの参加もOK）
- (3) 対 象：山形大学の学生、教職員、卒業生、一般の皆様
- (4) 参加費：無料
- (5) 主 催：山形大学 YU-SDGsタスクフォース

※具体的な内容・発表者、申込先等は別紙をご覧ください。



山形大学は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

お問い合わせ

YU-SDGs タスクフォース
エンrollment・マネジメント部 ファンドレイザ - 樋口 浩朗
TEL 023-628-4497
メール higu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

第5回YU-SDGsカフェ（ウェビナー）

この山形でどうしてこの人たちは面白そうに
仕事してるのか、聞いてみたくないですか!?

一緒に語ってくれる山大生大募集！
（一般の方の参加も可）

研究者と医者とカウンセラーであなたのお悩み一発解決します！



山形大学 教授
城戸淳二
Junji Kido



さとこ女性クリニック院長
井上聡子
Satoko Inoue



山形大学 学生相談室
中澤未美子
Mimiko Nakazawa

日時：2022年1月27日（木）
19:00-20:00

対象：山大生、一般の方
参加費：無料

申込先：
https://forms.gle/wMNC3qWs_q5zzrzDq5



Contents

- ☕ 開催趣旨説明 中澤 (5分)
- ☕ 山形と仕事を語る 城戸、井上、中澤による鼎談 (30分)
- ☕ お悩み相談コーナー 視聴者との双方向Live (20分)
- ☕ 登壇者プロフィール



山形大学教授。大阪府出身。
ニューヨークポリテクニク大学大学院修了 (Ph.D.)。紫綬褒章受賞。
山形在住32年
趣味は釣り、特技はどこでも寝れる、
など。



さところ女性クリニック (山形市) 院長。山形大学医学部卒 (医学博士)
日本産科婦人科学会専門医。日本スポーツ協会公認スポーツドクター。
山形県男女共同参画社会づくり功労者知事表彰。



山形大学准教授。精神保健福祉士・公認心理師・博士 (社会福祉学)、
日本福祉大学福祉社会開発研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。名古屋大学ハラスメント相談センター助教を経て、現職。

